

キャタピラー

適用範囲		モデル名	307D	308D CR	308D SR		
		適用号機	ECT00001~	HSA00001~	JPS00001~		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度					
		ハイアイドルリング	rpm	2250±50	2250±50	2250±50	
		ローアイドルリング	rpm	1000±25	1000±25	1000±25	
		(冷却水温)	(°C)	80~90	80~90	80~90	
	(作動油温)	(°C)	55±5	55±5	55±5		
	弁隙間	吸気弁 隙間	mm	0.2	0.2	0.2	
		排気弁 隙間	mm	0.3	0.3	0.3	
	[測定条件]			(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	
	圧縮圧力	kgf/cm ²	23~29	23~29	23~29		
		MPa	2.3~2.8	2.3~2.8	2.3~2.8		
気筒間圧縮圧力差	kg/cm ²	—	—	—			
(冷却水温)	(°C)	80~90	80~90	80~90			
(回転速度)	(rpm)	280	280	280			
燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ²	160	160	160		
		MPa	15.7	15.7	15.7		
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	8~11	8~11	8~11		
		測定位置・条件 (kgとNの両方で表記)	kg N	10 98	10 98	10 98	
走行性能	最高速度	秒	5.0km	5.0km	5.0km		
		測定方法・条件	—	—	—		
走行装置	履帯(クローラベルト)	張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	鉄シュー基準と同じ	鉄シュー基準と同じ	鉄シュー基準と同じ	
			mm	40~55 アイドラ キャリア間 図NO.10	40~55 アイドラ キャリア間 図NO.10	40~50 アイドラ キャリア間 図NO.10	
	鉄シュー	リンクピッチの伸び 測定方法・条件	mm	616	616	616	
			4リンクピッチ	4リンクピッチ	4リンクピッチ		
リール	覆板取付けボルト縮付けトルク 測定方法・条件	Kgf・m	25±2.5	25±2.5	25±2.5		
		N・m					

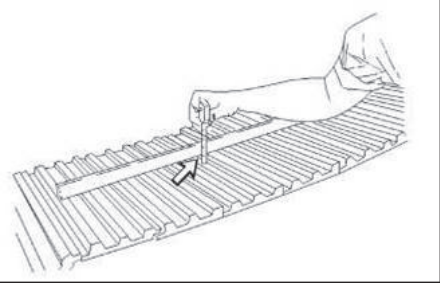
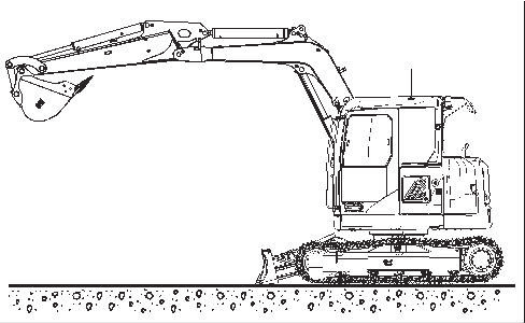
検査基準値									

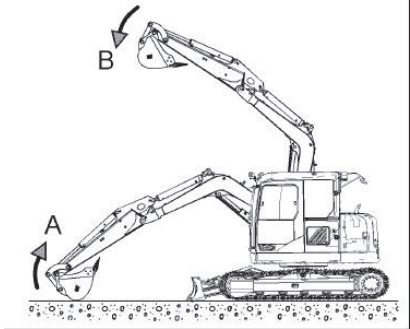
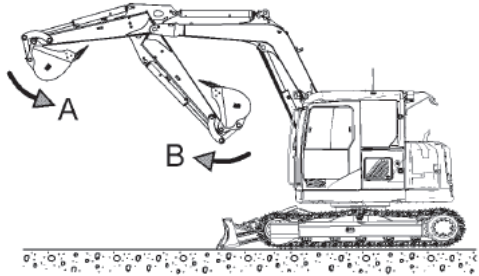
キャタピラー

適用範囲		モデル名		307D	308D CR	308D SR				
		適用号機		ECT00001~	HSA00001~	JPS00001~				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値						
作業	作業機 自然降下	バケット先端位置 (測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm (分) (°C)	設定ナシ	設定ナシ	設定ナシ				
	シリンダー 自然伸縮	ブームシリンダー アームシリンダー バケットシリンダー ブレードシリンダー (測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケット荷重	mm mm mm mm (分) (°C) kg	~11 ~25 ~12.5 ~7 5 55±5 図 No. 6 空荷	~11 ~25 ~12.5 ~7 5 55±5 図 No. 6 空荷	~11 ~25 ~12.5 ~7 5 55±5 図 No. 6 空荷				
	装 置	作業機速度	ブームシリンダー伸ばし 縮め 作業装置姿勢 (図面番号表示) アームシリンダー伸ばし 縮め 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットシリンダー伸ばし 縮め 作業装置姿勢 (図面番号表示) (作動油温) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)	秒 秒 秒 秒 秒 秒 (°C)	~4.2 ~4.0 図 No. 7 ~4.1 ~3.3 図 No. 8 ~4.5 ~3.0 図 No. 9 55±5 空荷、 ハイト°ℓ	~5.0 ~4.2 図 No. 7 ~4.1 ~3.3 図 No. 8 ~5.3 ~3.8 図 No. 9 55±5 空荷、 ハイト°ℓ	~6.0 ~4.8 図 No. 7 ~5.4 ~4.7 図 No. 8 ~4.8 ~3.8 図 No. 9 55±5 空荷、 ハイト°ℓ			
		油 圧 装 置	油圧回路図 設定圧力	主回路設定圧力	kgf/cm²	296 ⁺¹⁰ / ₋₂₀	280±5	280±5		
性能測定条件 (設定モード等)				MPa	29.0 ⁺¹ / ₋₂ ハイト°ℓ	27.5±0.5 ハイト°ℓ	27.5±0.5 ハイト°ℓ			
動 力 伝 達 装 置		旋回ベアリン グ取付けボ ルトの締付け	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	kgf・m N・m	22±2.2 216±22	22±2.2 216±22	22±2.2 216±22			
	インナーレース取付け ボルトの締付けトルク		kgf・m N・m	22±2.2 216±22	22±2.2 216±22	22±2.2 216±22				
	旋回減速機取 付けボルトの 締付け	油圧モーター取付けボ ルトの締付けトルク	kgf・m N・m	18±1.0 177±10	18±1.0 177±10	18±1.0 177±10				
旋回減速機取付けボ ルトの締付けトルク			kgf・m N・m	18±1.0 177±10	18±1.0 177±10	18±1.0 177±10				

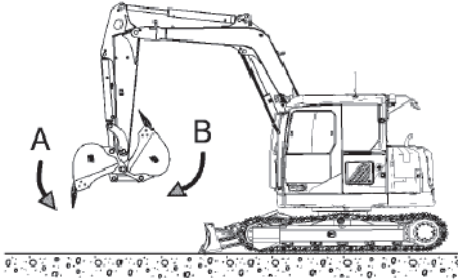
検査基準値									

キャタピラー

項 目	測 定 方 法
履帯張り (たわみ量)	<p>1. アイドラからキャリアローラまで届く角材をトラックの上に置く。</p> <p>2. トラックシュー上面と角材下面の最大たるみ量が 40～50mmあればトラックは正しく調整されている。</p> <p>尚、張り調整時はトラック周りに付着している土砂などを取り除いてから実施すること。</p>  <p style="text-align: center;">図 1</p>
シリンダ自然伸縮	<p>測定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 機体を平坦地におき図のようにする 2. バケットは空にする 3. エンジンを停止する <p>測定要領</p> <p>ブームシリンダ、スティックシリンダ、バケットシリンダ自然降下</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エンジンを始動する。 2. バケットシリンダを伸びエンドから 10mm 縮める。 3. スティックシリンダを縮みエンドから 10mm 伸ばす。 4. スティック先端ピンをブームフットピンと地上から同じ高さにする。エンジンを停止する。  <p style="text-align: center;">図 2</p>

項 目	測 定 方 法
作業機速度 (ブームシリンダ)	<p>バケットシリンダ最大伸長、スティックシリンダ最少収縮にし、</p> <p>A. 伸び試験…… バケット接地状態からブームシリンダ伸びエンド迄の作動時間を測定</p> <p>B. 縮み試験…… ブームシリンダ伸びエンドからバケット接地迄の作動時間を測定</p>  <p style="text-align: center;">図 3-1</p>
作業機速度 (スティックシリンダ)	<p>測定要領</p> <p>ブームの上面を平行に保つ。バケットシリンダ伸びエンドにし</p> <p>A. 伸び試験…… スティックシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定</p> <p>B. 縮み試験…… スティックシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定</p>  <p style="text-align: center;">図 3-2</p>

キャタピラー

項 目	測 定 方 法
<p>作業機速度 (バケット シリンダ)</p>	<p>測定要領 ブームの上面を地面に平行にし、スティックを垂直に立て</p> <p>A. 伸び試験…… バケットシリンダ縮みエンドから伸びエンド迄の作動時間を測定</p> <p>B. 縮み試験…… バケットシリンダ伸びエンドから縮みエンド迄の作動時間を測定</p>  <p>図 3-2</p>

キャタピラー

クレーン時の旋回速度測定

適用範囲		モデル名		020SR	030SR	040SR	050SR	
		適用号機		K0600001～	K0700001～	K0800001～	K0900001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	2回転の所要時間	秒	14.8～22.6	15.2～22.6	15.2～22.6	14.0～20.7	
		(条件) エンジン回転数	rpm	1725～1875	1725～1875	1725～1875	1575～1725	
検査条件	クレーンモードに入った状態で、エンジン回転数が自動制御されるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。							

適用範囲		モデル名		303.5ECR	304ECR	305ECR	305.5ECR	
		適用号機		RSE00001～	TSR00001～	XSC00001～	FSC00001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	25.7-36	25.7-36	25.7-36	25.7-36	
検査条件	クレーンモードに入った状態で、エンジン回転数が自動制御されるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。							

適用範囲		モデル名		307D	308DCR	308DSR		
		適用号機		ECT00001～	HSA00001～	JPS00001～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	22.5～26.0	22.5～26.0	22.5～26.0		
検査条件	フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。							

適用範囲		モデル名		311DRR	312D	313DCR	313DSR	314DCR
		適用号機		AKW00001～	FBJ00001～	LCE00001～	LBR00001～	MFK00001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	45±3	45±3	32.7±3	32.7±3	32.7±3
検査条件	フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。							

キャタピラー

適用範囲		モデル名		315DL	320D-2	320DL-2	320DRR-2	320DLRR-2
		適用号機		BYK00001~	BWZ00001~	DFB00001~	RBL00001~	SCW00001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	45±3	35.3±3	35.3±3	36±3	36±3
検査条件		フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。						

適用範囲		モデル名		320DLN	321DCR	321DLCR	312E	314ECR
		適用号機		KAF00001~	JCX00001~	KBH00001~	GAC00001~	ECN00001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	45±3	45±3	45±3	35.3±3	35.3±3
検査条件		フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。						

適用範囲		モデル名		314ESR	314ELCR	316EL	320E	320EL
		適用号機		ECN00001~	YCW00001~	WZY00001~	SXE00001~	LAK00001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	35.3±3	35.3±3	35.3±3	35.3±3	35.3±3
検査条件		フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。						

適用範囲		モデル名		320ERR	320ELRR			
		適用号機		LHN00001~	MEW00001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	3回転の所要時間 (1回転加速後に計測)	秒	35.3±3	35.3±3			
検査条件		フロント姿勢をスティック垂直、バケットクローズで、ブームを上げた姿勢にする。 クレーンモードに入った状態での基準値となるため、クレーンモードの状態にて計測を実施すること。						